

会 議 録

会議の名称	第3回 西東京市交通安全対策会議
開催日時	平成29年1月26日(木曜日) 午後2時から3時30分まで
開催場所	西東京市役所 田無庁舎 庁議室
出席者	<p>【委員】丸山会長(欠席)、増田委員、(欠席:新妻委員)、長沢委員(代理:瀧沢様)、(欠席:清水委員)、川村委員、村山委員、(欠席:諸岡委員)、西嶋委員、松本委員、八木委員、阿部委員、(欠席:萩原委員)、保谷委員、手塚委員、湊委員</p> <p>【オブザーバー】なし</p> <p>【事務局】礒崎道路管理課長、本橋係長、福本主任</p>
議題	<p>1. パブリックコメントの実施結果</p> <p>2. 交通安全計画(案)の提示・検討</p> <p>3. その他</p>
会議資料の名称	<p>資料1 パブリックコメントの集計と検討結果</p> <p>資料2 第2回 西東京市交通安全対策会議 質問事項一覧</p> <p>資料3 西東京市交通安全計画(案)</p> <p>資料4 会議録(第2回西東京市交通安全対策会議)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○発言者名: 発言内容</p> <p>○事務局: 会議資料等の確認</p> <p><u>議題(1) パブリックコメントの実施結果について</u></p> <p>○事務局: 資料1に基づき、パブリックコメントの実施結果について説明を行う。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>○増田委員: 4番バリアフリーの回答の中で、路側帯の凹凸とは具体的に何を指すのか知りたい。縁石や車道の高さを指すのか、歩道そのものが傷んでいる穴を指すのか、路側帯の白線そのものを指すのか。このままでは何でも対処してもらえるような誤解を招く。実施できることをしっかり表現することが大切ではないか。</p> <p>○事務局: 自転車が走りやすい環境をつくるという意味で表現した。指摘を踏まえて文言の整理を行う。</p> <p>○湊委員(職務代理): 表現の仕方を事務局で整理する。</p> <p>○村山委員: 歩道の段差5センチメートルは、自転車にとって走りづらい。一旦自転車から降りれば問題ないのかもしれないが、乗ったままの5センチメートルは運転しづらい。</p> <p>○増田委員: 一般論として説明したい。国の基準で歩道の段差は、5センチメートルである。横断歩道など歩道の切れるところは2センチである。一方、国で作成されたガイドライン^{※1}によると、視覚障害者にとっては、歩車道との段差が5センチ、2センチでも怖いということで、もっと段差をつけてほしいとの意見があった。ただし、特定のエリアでは一部0段差等の対応も進めている。</p> <p>○湊委員(職務代理): ご指摘いただいた分に関しては、事務局において表現の整理をし、市民からの意見による検討結果に反映する。</p>	

※1 道路の移動円滑化整備ガイドライン

議題（２） 交通安全計画（案）の提示・検討について

- 事務局：資料３の西東京市交通安全計画（案）の内容について説明を行う。
（質疑応答）
- 増田委員：資料３ P14、道路種類別交通事故の推移について、道路整備と交通事故の因果関係を解析したところ、道路を整備したからといって事故は減らない。都市計画道路をつくると速度が上がるため、1回の事故が大きくなるというデータもある。誤解を招くので削除した方がよい。
- 事務局：資料３ P14、文言について整理し検討する。
- 手塚委員：資料２ P1、２番「田無の特別支援学校」は正式名称の「東京都立田無特別支援学校」と修正した方がよい。
- 事務局：修正する。
- 湊委員（職務代理）：正式な名称に修正する。
- 西嶋委員：資料３ P25、「学習指導要領に基づき、薬物乱用・飲酒等防止の指導について」の箇所は、前計画から引き続き盛り込まれている内容であるが、唐突に出てくる印象がある。薬物乱用と飲酒防止に関しては、交通安全教育ではなく、健康な生活と疾病の予防に関することであるため、「安全に関する指導については～」に変えてほしい。
- 湊委員（職務代理）：前回からの内容を踏襲しているが、変更しても問題ないか。
- 事務局：問題ない。
- 保谷委員：資料３ P8、歩行者学齢層別時間帯死傷者数のグラフ、小学生１～３年の多いところは学校帰りの時間帯で理解でき、飛び出しが多いなど、低学年ルールマナーの周知という対策となる。16時～18時の時間帯で幼児が２番目に多く、一人歩きする時間とは考えにくく、保護者も同伴というように考えるのが自然。これに関して実態としてのデータはあるのかどうか。保護者のルールやマナーに問題があれば大人に対する教育も重要になってくる。
- 事務局：幼児の交通事故実態に関するデータはない。
- 保谷委員：資料３ P25、(2) スケアードストレートとは何か。説明をもう少し追加した方がいい。
- 事務局：市内の中学校で実施しているスタントマンによる交通安全教育のことであるが、分かりやすく説明を加える。
- 湊委員（職務代理）：スケアードストレートに関しては、前計画同様、写真などを差し込むなど、分かりやすくする。
- 村山委員：自転車の安全に関して、強制ではなく自主的に点検整備ができるよう啓発が必要。
- 事務局：小学校では自転車販売事業者の協力のもと、自転車教室で点検を行っている。問題のある自転車については自転車整備カードをつけて整備を受けるようにしている。交通安全計画においても、自転車の整備について文言を入れるよう検討する。
- 増田委員：1点目、資料３ P21、バリアフリーという言葉が多いが、具体的にはどのようなことを指すのか。先ほど話に出たような歩道の段差解消、点字ブロックも含まれるが、ほとんど対応しており、解消されている。
- 2点目、P21 (2) イ「第3次交差点すいすいプラン」の西東京市内に該当する部分は具体的に用地買収が進んでいるため、「東京都の計画に選定」という表現を変えた方がいい。
- 3点目、P21 (4)「都市計画道路」については、「幅員の広い道路」に表現を変えた方がいい。

4 点目、P23 4 (2)、駐輪場に関して、民間の開発行為と規制緩和で駐輪場を増やしてはどうか。

○事務局：1 点目、バリアフリー化の考え方については現在、同時期に西東京市道路整備計画を策定しており内容の整合をとっている。具体的には「道路の移動円滑化整備ガイドライン（平成 23 年度）」に基づいて、歩車道との境界は 2 センチを標準としている。車イス利用者にとっては、2 センチの段差が障害となるため、視覚障害者の識別性に影響を与えない部分的な段差解消を検討する。設計基準を考慮しながらの整備が必要とされている。

2.点目、(2) イ「第 3 次交差点すいすいプラン」選定されている箇所に対して用地買収などの事業の進捗を正確に把握し修正する。

3 点目、幅員の広い道路について、市内の自転車専用レーンは田無駅北口に 1 か所以外は設置していない。六角地蔵通りに自転車ナビマークを昨年 3 月末に設置した。

設置した理由は、自転車が右側走行し危険だという意見をいただき、自転車の走方向を示したものを設置し、逆走の減少をはかっている。自転車専用レーンが設置できないような道路事情の箇所は自転車ナビマークで対応することを考えている。

今後専用レーンについて設置できるような場所があれば積極的に活用していきたいと考えている。

都市計画道路など幅員が確保できる道路については、設置を含めて検討していく方向で考えている。

4 点目、駐輪場に関しては検討したい。

○湊委員（職務代理）：4 点目、現実には民間の駐輪場は減っている。

○川村委員：資料 3 P25、(3) 高齢者に対する交通安全教育、体験機器を活用した参加・体験型の交通安全教育の充実を図るとあるが、実際に東京都老人クラブ連合会より自転車シミュレータの活用について、体験して欲しいと連絡があったが実現するまでに結びつかない。自転車シミュレータの表現を強めにしてはいかがか。

○事務局：警察と連携し、自転車シミュレータの体験を市民まつりなどのイベントで行っている。

○保谷委員：資料 3 P33、ホームドア設置について西東京市内の駅に設置の可能性はあるのかどうか聞きたい。

○松本委員：乗降客 10 万人を超える駅がホームドア設置の条件です。西東京市内には 10 万人を超えている駅はないため、設置の予定はない。

○村山委員：資料 3 P26、(5) 障害者の交通安全について具体的に取り組みを教えてください。

○事務局：現状では特に障害者のみの計画はないが、今後具体策を検討する。

議題（3）その他

○事務局：第 4 回交通安全対策会議は 3 月中旬を考えている。承認をいただく予定。
スケジュールの詳細は、後日お知らせする。

○湊委員（職務代理）：事前資料を委員にお送りします。

○湊委員（職務代理）：閉会の挨拶